

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称) 加古川市平岡町計画 新築	階数	地上11F
建設地	兵庫県加古川市	構造	RC造
用途地域	工業地域	平均居住人員	4人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年2月 予定	評価の実施日	2021年7月14日
敷地面積	3,664㎡	作成者	長谷工コーポレーション 大阪エンジニアリング事業部 玉木元也
建築面積	951㎡	確認日	2021年7月14日
延床面積	7,566㎡	確認者	長谷工コーポレーション 大阪エンジニアリング事業部 玉木元也



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1 ★★★★★☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

☆☆☆☆☆

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	100%
③上記+②以外の	100%
④上記+	100%

46 (kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.0

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.1

音環境	3.0
温熱環境	2.9
光・視環境	3.4
空気質環境	3.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.1

機能性	3.7
耐用性	2.7
対応性	2.8

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.7

生物環境	2.0
まちなみ	3.0
地域性・	3.0

LR のスコア = 3.3

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.9

建物外皮の	4.0
自然エネ	3.0
設備システ	4.4
効率的	3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 2.8

水資源	2.2
非再生材料の	3.0
汚染物質	3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.0

地球温暖化	3.0
地域環境	3.0
周辺環境	3.0

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
・機能性を向上する設備機器を敷設し、温熱環境や建材の有害性に配慮した計画とすることで、長期的に良好な住環境を得られるよう努めている。		特になし
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
・室内環境の向上を目指し、F☆☆☆☆建材を使用している。	・各住戸に最大通信速度1Gbpsに対応する通信設備を設置できる計画とすることで、機能性を向上させている。	・敷地内に緑地を配置することで、敷地内温熱環境の向上を図っている。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
・有効な採光・通風の確保のために、各住戸が外皮に二方向面するよう計画している。	・有害物質を含まない建材を使用している。	・LCCO ₂ の排出量を低くするよう努め、地球温暖化に配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される